

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成19年5月24日(2007.5.24)

【公表番号】特表2006-528737(P2006-528737A)

【公表日】平成18年12月21日(2006.12.21)

【年通号数】公開・登録公報2006-050

【出願番号】特願2006-532521(P2006-532521)

【国際特許分類】

D 2 1 F 1/10 (2006.01)

D 2 1 F 7/08 (2006.01)

【F I】

D 2 1 F 1/10

D 2 1 F 7/08

【手続補正書】

【提出日】平成19年3月20日(2007.3.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

機械に直交する方向(CD)の横糸の上層と、

CD横糸の底層とが、多層布を形成するように、機械方向(MD)の縦糸と一緒に織られ、且つ

前記底層が、摩耗側の横糸より小さな直径のCDパッキング糸を有し、該CDパッキング糸が隣接するCD横糸の間に挿入された；

抄紙機用布であって、

布の通気性を有意に損なうことなく、或いは布の厚さを増加させることなく、布の隙間容積が減少することを特徴とする抄紙機用布。

【請求項2】

機械方向(MD)の縦糸とCD横糸の上層が、布の形成側を形成し、且つ

MD縦糸とCD横糸の底層が、布の摩耗側を形成する

ことを特徴とする請求項1に記載の抄紙機用布。

【請求項3】

形成側のCD横糸の底層側CD横糸に対する比が、1:1より大きいことを特徴とする請求項1に記載の抄紙機用布。

【請求項4】

上層が、平織パターンで織られた紙形成層であることを特徴とする請求項1に記載の抄紙機用布。

【請求項5】

パッキング糸が、布のCD安定性を増加させることを特徴とする請求項1に記載の抄紙機用布。

【請求項6】

パッキング糸が、布の継目強度を増加させることを特徴とする請求項1に記載の抄紙機用布。

【請求項7】

パッキング糸が、摩耗側横糸の横の動きを減少させることを特徴とする請求項1に記載

の抄紙機用布。

【請求項 8】

少なくとも M D 糸の一部が、ポリアミド、ポリエステル、ポリブチレンテレフタレート（P B T）又はポリエチレンナフタレート（P E N）糸であることを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙機用布。

【請求項 9】

少なくとも C D 糸の一部が、ポリアミド、ポリエステル、ポリブチレンテレフタレート（P B T）又はポリエチレンナフタレート（P E N）糸であることを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙機用布。

【請求項 10】

当該布が、形成布、プレス布又は乾燥布であることを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙機用布。

【請求項 11】

M D 縦糸、C D 横糸又はパッキング糸が、円形断面形状、方形断面形状又は非円形断面形状を有することを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙機用布。

【請求項 12】

M D 縦糸、C D 横糸又はパッキング糸が、多纖維又はケーブルにした糸であることを特徴とする請求項 1 に記載の抄紙機用布。